

校長だより あおすげ

令和5年5月11日号

校長 竹内 重幸

<1年生を迎える会>

5月1日に1年生を迎える会を行いました。写真にあるように、4年ぶりに全校児童が体育館に集まったの開催となりました。6年生と手を繋いで1年生が入場すると、2年生から5年生の大きな拍手に包まれた空間になりました。1年生は緊張しているのか表情がかたいように感じました。その横で手を引く6年生は、頼もしく感じました。1年生を待つ2年生が立腰の姿勢で迎えている姿に1年の成長を感じました。1年生の存在や1年生への思いが、児童皆を育てていると実感します。人は人によって成長するものです。

各学年の発表には「1年生が楽しく学校生活を送ってほしい」と言う【ねがいや応援したいという思い】が詰まっています。

☆2年生・・・開式・歓迎の言葉

☆3年生・・・学校どこでしょうクイズ

☆4年生・・・美味しい給食、こんないいことがあるよ

☆5年生・・・そうじ名人への道「はたき」

☆6年生・・・みんなの合言葉「あおすげ」

☆1年生・・・お礼の言葉と校歌1番の斉唱



私は、青菅の合言葉「お：応援する子・応援される子」にちなんで、1年生を全力で応援したいと考え、中山さんに君の「パワー」をまねてみることにしました。1回目は、2・3年生と、2回目は、4・5年生と、最後は6年生と一緒に、右手を胸の前で曲げるポーズで「パワー」と叫び、応援を送りました。応援している子も、応援されている1年生も笑顔になりました。

「応援する子・応援される子」を今年度から新しく「目指す児童像」に加えました。人は応援されると頑張れることは、多くの方が経験していると思います。加えて、応援は、応援される人だけに効果があるのではなく、応援する側にも素晴らしい効果があります。友達を応援し助ける行いが、そのまま自分の力になるのです。このことは、脳科学でも証明されています。「脳は主語を認識していない。」のだそうです。つまり「頑張れ」「大丈夫」などと応援している時には、脳は、応援されていると認識してアドレナリンなどの脳内ホルモンを出すということです。

<PTA 除草作業 有難うございました>

青菅小学校の自慢は、緑豊かな環境ですが、この環境は人の手によって維持されています。環境は人に大きな影響を与えます。今日の作業は、児童に必ず良い影響を与えてくれます。PTAの皆様からの応援だと児童には伝えます。有難うございました。

